

ユニバーサルツーリズム

国際観光温泉文化都市“べっぷ”には、年間約800～900万人の観光客が訪れており、その中には高齢者や障がいのある人、小さな子ども連れの家族や外国人観光客など、訪れる人は様々です。

少子高齢化が懸念される現在、ユニバーサルツーリズムに対する需要やニーズは高まっており、その必要性は今後さらに増していくことが考えられます。

また、誰もが安心して訪れることができる観光地づくりに取り組むことで、観光客の増加や経済の活性化、共生社会の実現に繋がるのが期待されています。

別府市でも「ユニバーサルツーリズム」は重要な政策の一つと捉え、令和4年度から「NPO 法人自立支援センター おおいた」と協働で『別府市ユニバーサルツーリズム推進事業』を実施しています。

事業内容

モニターツアー

1泊2日の日程で市内の観光地や温泉、飲食店を巡るツアーを実施しました。

車いす利用者だからこそその気付きや意見をもとにユニバーサルな旅を提案していきます。

ユニバーサルツーリズムとは

「全ての人を楽しめるように作られた旅行であり、高齢や障がいなどの有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行」を指します。



○モニターツアーに参加しての感想
神奈川県から参加した橋本絢花さんと杉原未玲さんの、いくつか一緒に旅行ができたという思いはあるものの、移動や入浴のことを考えると実現できずにはいきましたが、今回のモニターツアーの募集を知り、良い機会だと思い応募しました。
バリアフリーツアーセンターの皆さんのサポートのおかげで、様々な場所を巡ることができ、何より念願だった温泉にも一緒に良い思い出になりました。

啓発活動

小中学校や地区公民館で取組の紹介などを行い、バリアフリーについて向き合い、考える機会を作っています。



バリアフリー調査

「観光」「飲食店」「宿泊」「温泉」「交通」各分野の調査を行い、バリアフリー観光情報サイト「ぱらべっぷ」で情報発信を行い、旅マエ・旅ナカの安心を提供しています。



接遇研修

高齢者や障がいのある人への配慮に対する接遇力の向上を目的に観光関係者や事業者を対象に研修会を開催しています。



レンタルサービス

旅先での車いすやベビーカーレンタルのニーズに応えるため、別府駅構内にある観光案内所「ワンダーコンパスベッぷ」で貸出サービスを実施しています。



「行ける場所ではなく、 行きたい場所に行くために…」

高齢の人や障がいのある人を受入れることは難しいことではありません。

また、完全にバリアフリーではなくても、事前の情報やまわりのサポートがあれば行ける場所がたくさんあります。

当事者が抱える困りごとや必要な支援を正しく理解し、適切な対応をすることで、旅行者にとっても受入れ側にとっても負担の少ない旅行を実現することができます。

“バリアのないまち別府”を目指して、皆さんで取り組んでいきましょう。

◆別府・大分バリアフリーツアーセンター

住所：別府市石垣東3丁目3番16号
別府J1階

☎090-6633-4882



▲ホームページ

◆NPO 法人自立支援センターおおいた

住所：別府市石垣東3丁目3番16号
別府J1階

☎24-4924



▲ホームページ

温泉入浴介助

障がいのある人や高齢者でも気軽に温泉を楽しむよう、介護ヘルパーが入浴をサポートする取組を行っています。



別府・大分バリアフリー
ツアーセンター
代表 若杉竜也さん

「別府に住む人々が見せてくれる“心のバリアフリー”は、他のどのまちにも負けていない」と感じています。今後も市民の皆様や観光関係者等の方々と共に、日本一のバリアフリー温泉観光都市・別府を目指す取組として、接遇研修やフォーラムを開催しますので、皆様ぜひご参加ください。